

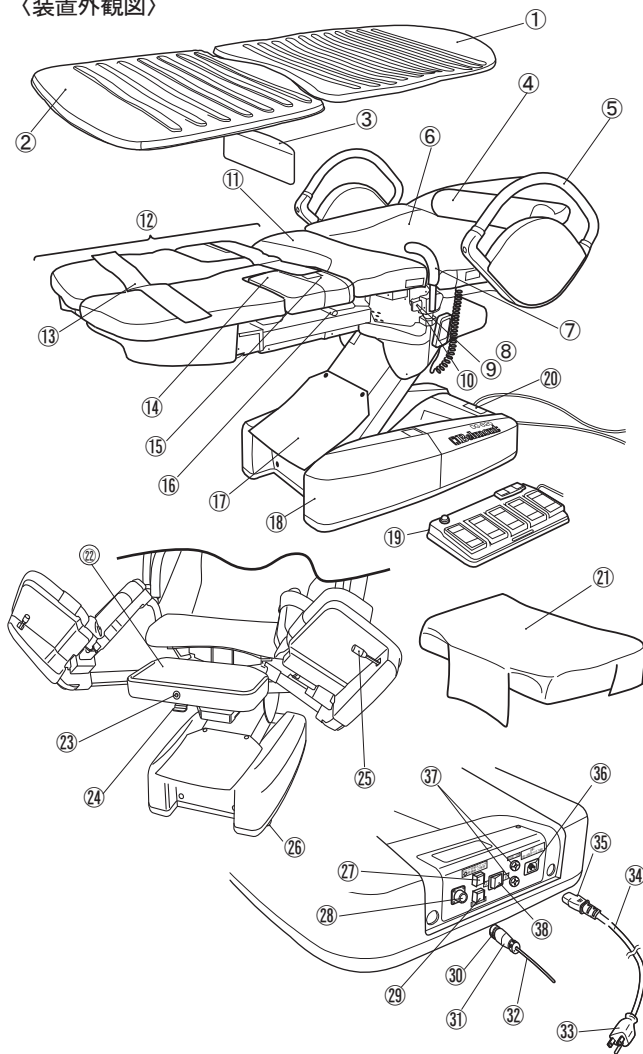
## LDR分娩台 DG-820 (手動ロック・油圧ロック仕様)\*

### 【警告】

- 1) 患者および使用者の手・指・身体の一部を機器の可動部や可動部の周辺に近寄らせないこと。

### 【形状・構造及び原理等】

〈装置外観図〉



- ①ジェルマット上部 ②ジェルマット下部 ③脚板隙間クッション  
④枕 ⑤サイドフェンス ⑥背モタレ ⑦怒責グリップ  
⑧ハンドスイッチ(アクセサリ) ⑨怒責グリップ調整ノブ  
⑩サイドレール ⑪腰板 ⑫脚板 ⑬踵保持ベルト ⑭下腿受  
⑮下腿保持ベルト ⑯下腿受解除レバー ⑰汚水カバー ⑱ベース  
⑲フットスイッチ ⑳電源パネル ㉑シートカバー  
㉒新生児受台 ㉓ロック解除ボタン ㉔スイング解除レバー  
㉕脚板屈曲レバー ㉖アジャスター ㉗モード切替スイッチ  
㉘フットスイッチ用メタルコンセント  
㉙本体ロックスイッチ(油圧ロック仕様) ㉚ロック金具  
㉛メタルコンセント ㉜フットスイッチコード ㉝電源プラグ  
㉞電源コード ㉟機器用コネクター ㊱機器用インレット  
㊲ヒューズ10A ㊳電源スイッチ

- ＊ (1) 本体寸法 . . . . . 1080mm×2060mm×550mm  
(2) 質 量 . . . . . 305kg  
(3) 電 気 定 格 . . . . . AC100V 5.0/5.6A 50/60Hz  
(4) 動 作 原 理 . . . . . 電動油圧式・電動モータ式・ガスシリンダ  
手動式

### 〈性能〉

- (1) 初高 : 550±10mm  
(2) 本体昇降ストローク : 450±10mm【電動油圧式】  
(3) 背モタレ昇降角度 : 60°～10°±2°【電動油圧式】  
(4) 腰板昇降角度 : 25°±2°【電動油圧式】  
脚板昇降連動  
(5) 脚板開脚角度 : (右) 0°～33°±3°【電動モータ式】  
(左) 0°～33°±3°【電動モータ式】  
(6) 脚板屈曲角度 : 0°～90°±2°【ガスシリンダー手動式】  
(7) 下腿屈曲角度 : 75°±2°【手動式】  
(8) サイドフェンス : 180°回転【手動式】  
(9) 新生児受台スライドストローク : 150±3mm【手動式】  
(10) 新生児受台回転角度 : 90°±3°【手動式】  
(11) 新生児受台回転時の  
スライドストローク : 60±5mm【手動式】  
(12) 最大連続動作時間 : 3分  
(13) 電撃に対する保護形式 : クラスⅠ B形装着部

### 〈動作保証条件〉

下記の条件にて使用すること。(但し、結露しないこと)  
温度…10℃～40℃  
湿度…10%～90%

\* 気圧…700hPa～1060hPa

### 【使用目的又は効果】

本製品は、調節可能な診断・処置台で、陣痛・分娩時、および妊娠に関連した他の診療・処置時に、女性の体位を適切な位置に支持することを目的としています。

### 【使用方法等】

#### 〈設置方法〉

- ・本製品の取付・設置は専門の販売店(当社又は当社指定の業者)が行うこと。(取扱説明書の「設置」の頁を参照のこと。)
- ・本製品は、必ず平らで丈夫な床の上に設置すること。床面が5°以上傾いている場所へ設置すると本製品が転倒するおそれがあります。
- ・本製品のアジャスターは必ず固定すること。

#### 〈使用方法〉

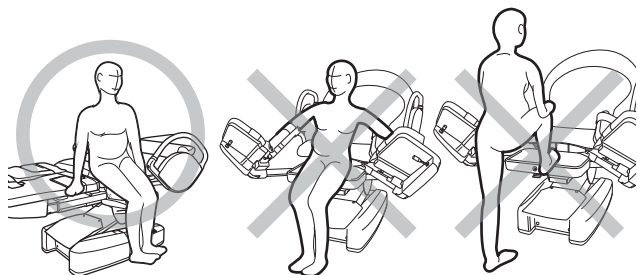
- ①機器用コネクターを機器用インレットに差し込み、電源プラグをアース端子付コンセントに差し込み、電源スイッチを入れます。
- ②本製品の操作はフットスイッチ、ハンドスイッチ(別売)で行います。
- ③処置終了後は電源スイッチを切り、アース端子付コンセントから電源プラグを抜いてください。

本製品の詳細な操作方法、および使用方法については付属の取扱説明書「操作方法」の項を必ず読むこと。

## ＊ ＊ 【使用上の注意】

### 〈重要な基本的注意〉

- 1) 機器周辺に、患者以外（特に子供）を近づけないこと。  
やむを得ず、患者以外を近づける場合、機器の操作中は、患者以外の安全にも考慮すること。[挟み込みによる怪我の防止]
- 2) 本製品は出荷時に消毒・滅菌などがされていないので、使用前に清拭作業を行なうこと。
- 3) 人体質量135kgより大きな人、及び同時に複数の人を乗せないこと。
- 4) 薬液等が樹脂や金属塗装面に付着した場合、樹脂が変質したり、塗装が剥れ、内部金属が腐食するおそれがあるので、速やかに清拭してください。
- ＊ ＊ 5) 他の医用電気機器と併用する場合、電磁的影響による不正な動作が発生することがないか使用前に確認すること。
- 6) フットスイッチは踏み間違いのないように、十分注意して操作を行うこと。
- 7) 操作を行う人は周りに十分注意を払い、言葉をかけてから分娩台の作動を行うこと。
- 8) 新生児受台を踏み台にして乗り降りしたり、腰を掛けたりしないこと。



- 9) 新生児受台は本体から抜かないこと。
- 10) 分娩時においても、休息時においても新生児受台に足を乗せないこと。
- 11) 新生児受台の回転、収納は確実にすること。
- 12) 脚板、サイドフェンス、頭上怒責棒（アクセサリー）に乗ったり、腰掛けたりしないこと。
- 13) 分娩中は保持ベルトで脚を保持すること。
- 14) 保持ベルトは開脚後に使用すること。
- 15) 股関節の悪い患者には十分注意して開脚すること。
- 16) 患者を乗せての本体の移動は行わないこと。
- 17) 3分以上連続で作動させないこと。

## ＊ 【保管方法及び有効期間等】

### 〈使用期間〉

非連続作動

最大作動時間 3 分

デューティサイクル 1 : 5

### 〈耐用期間〉

- ・ 本製品の耐用期間は、正規の保守点検をした場合に限り 10 年間です。[自己認証（当社データ）による]
- ・ 腰板、枕などのクッション部品、グリップ、ジェルマット及びスイッチ類は使用環境によって異なります。

## 【保守・点検に係る事項】

### 〈使用者による保守点検事項（日常点検）〉

詳細については取扱説明書の「保守点検」の項を使用前に必ず読むこと。

- 1) 機器及び部品は必ず日常点検を行うこと。
  - ・ コード類の破損及び接続状態の確認。
  - ・ 外観の破損状態の確認。
  - ・ 設置状態の確認。
  - ・ 各部が正確かつ安全に作動することの確認。
  - ・ ゆるみ、ガタ、傾き、振動、音、温度、臭気などに注意する。以上について点検を行い、少しでも「おかしいな？」と感じたらすぐに使用を中止すること。
- ・ 使用後は清拭作業を行うこと。  
清拭作業が不十分な場合、菌の発生により人体に影響を及ぼす場合があります。機器を清潔に保ちご使用ください。
- ・ 金属腐食性の強い消毒液（ポビドンヨード、次亜塩素酸ナトリウムなどは絶対に使用しないこと。
- ・ 使用可能な洗浄・消毒液の一例として、アルコール(70%)、4級アンモニウム系…塩化ベンザルコニウム(0.1～0.2%)が挙げられる。
- ・ 水をかけて洗わないこと。  
故障や感電するおそれがあります。
- 2) しばらく使用しなかった本製品を再使用するときは、使用前に清掃を行い、清拭作業を行った後、必ず本製品が正常に、且つ安全に作動することを確認すること。

### 〈業者による保守点検事項〉

定期点検は当社または当社の指定する業者に依頼すること。

詳細は取扱説明書を参照すること。

### ● 本製品を廃棄するとき

本製品や交換した部品を廃棄するときは、感染予防を十分行い、その時点で法規制にしたがい、適切な処理をしてください。

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

タカラベルモント株式会社

TEL : 06-6212-3620

販売業者

取扱説明書を必ずご参照ください。